

2006年12月18日
株式会社日立製作所

日立が豪州で通勤電車 78 編成 626 両分の電気品を受注

日立製作所 電機グループ(グループ長&CEO:鈴木 學ノ以下、日立)は、日立の豪州現地法人である Hitachi Australia Pty Ltd(以下、HAUL)と共同で、2006年12月2日、豪州の鉄道車両メーカーである EDI Rail とコンソーシアムを組み、豪州シドニー近郊の鉄道路線運行会社である Rail Corp 向け通勤電車 78 編成 626 両を、特別目的会社である Reliance Rail から受注しました。EDI Rail が車体の製造、日立が電気品の製造をそれぞれ担当します。

本プロジェクトは、民間の資金とノウハウを活用する ” Public Private Partnership Project ” (以下、PPP プロジェクト)と呼ばれる官民協調プロジェクトであり、銀行や民間企業が出資して設立した特別目的会社である Reliance Rail Corp が、Rail Corp と事業権契約を締結し、資金の調達、車両の購入および提供、保守を行うもので、豪州最大の PPP プロジェクトとして注目を集めています。今回納入される車両については、2010年から2013年にかけて、順次既存の車両と置き換えられる予定です。

日立は、国内唯一の鉄道総合システムインテグレータとして、通勤電車や新幹線向けに車両や電気品、信号システムなどの鉄道システム関連製品を数多く納入してきました。近年では、海外においても、英国向け高速鉄道用車両および保守、ドバイ向けモノレール、台湾の台北空港連絡新線向け変電所など、様々な製品を受注しています。

今後も日立は、鉄道総合システムインテグレータとして、国内市場で培った高い技術力と豊富な実績を生かし、海外における多種多様なニーズにこたえながら、鉄道システム事業の更なる拡大を目指します。

照会先

株式会社日立製作所 電機グループ 交通システム事業部 海外第一部[担当：桧垣、古谷]

〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目18番13号

TEL 03-4564-5540 (ダイヤルイン)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
